

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス You II

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2026年

3月

1日

法人（事業所）理念		<基本理念> ・どの様な疾病や障害があろうとも、人は自己肯定感をもって安寧に人生を歩む存在であることを尊重し、一人ひとりのリハビリを支援する。							
支援方針		・お子様を中心に、保護者様と連携しながら、コミュニケーションや社会性の獲得に取り組みます。 ・科学的根拠に基づいた支援を重視し、Early Start Denver Model（ESDM）などを活用した支援プログラムを構築・実践します。							
営業時間		10時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・お子様の身辺自立を目指し、段階的に課題を組み込むことで、衣類の着脱や物の整理などを習得できるよう支援します。 ・施設内での習得内容がご家庭や保育所等でも実践できるよう、お子様の発達や特性に応じた支援します。							
	運動・感覚	・ボールを使った粗大運動やプットインなどの微細運動に取り組めるように支援します。 ・お子様が姿勢保持し、着席行動もできるよう、個々に合った机やイス、パーティションを整え、集中しやすい環境を提供します。 ・感覚の偏りに配慮し、玩具や教材、おやつ触感や味にバリエーションを持たせ、無理なく活動できるよう支援します。							
	認知・行動	・玩具やマッチング課題やパズル等の教材を通して、認知能力の向上を図ります。 ・お子様が楽しんで取り組める、興味や発達に合わせた課題に取り組みます。 ・不適切な行動が見られた際には、安全に配慮した上で過度に注目せず、適切な行動が身につくように工夫します。							
	言語 コミュニケーション	・言語、非言語のコミュニケーションの基礎となるスキルの段階的な習得を目指します。 ・環境設定を行い、他者に要求を伝える、また他者と物や活動を共有し、関わることの楽しさを学べるよう支援します。 ・情動調整をできるように支援します。							
	人間関係 社会性	・くすぐり遊びや手遊び等の活動を行い、他者と関わることの楽しさを伝えます。 ・お子様の選択した活動の中でも順番交代等を伝える機会を設け、生活内でも実践できるよう支援します。 ・他者に注目する、模倣することやお子様からの発信を増やすことで、社会性を身につける基礎を育みます。							
家族支援		・必要に応じてお子様の療育に同席していただき、支援を実際に見学する機会を設けます。 ・お子様だけでなくご家族が抱える困りごとを日常的に聴き取り、「育ち」や「暮らし」が安定できるよう対応策等を一緒に考え相談します。				移行支援		・地域の幼稚園や保育所および他事業所、児童発達支援センターへの移行を行うことがあります。	
地域支援・地域連携		・お子様の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を進めるため、専門的な知識・技術に基づく支援、保育所等訪問支援などを行います。また、お子様のライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育関係機関等と連携を図ります。				職員の質の向上		・法人内の研修会、児童発達支援センター研修会、発達に関するWebセミナーへの参加など、様々な専門的な研修会への参加を行い、支援の質向上を目指します。	
主な行事等		・保護者様とお子様と季節を感じられるよう、取り組み内容（手遊び歌や制作課題など）に季節を表現する物を組み込んでいます。							

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスYOU II		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ESDMの理念や手法を用いた個別の早期療育を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限り自然な文脈の中で対人的スキル(模倣・指さし・共同注意など)を学び、ASD特性の軽減を目指している。</li> <li>ESDM認定トレーナーの指導を定期的に受けることで、支援方針や手法のスキルアップを目指している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESDMの理念や手法をよりスタッフへ広め、個別療育の質の向上を図る。</li> <li>活用する道具を自作する等しながら、お子様一人一人に合わせた支援を実施していく。</li> </ul>
2	TEACCHの考えや手法を用いた個別療育を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>構造化された環境を設定することで、お子様が安心・安全に過ごすことができるよう配慮している。</li> <li>就学に向けたスキルを学ぶ機会や集団適応に必要なスキルを個別支援の中で実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様一人一人に合わせた構造化を行えるよう、これまで以上に丁寧にアセスメントを行う。</li> <li>標準化された尺度等を導入することで、学んでいるスキル等を客観的に把握する。</li> </ul>
3	保育士や教員経験者および心理士等の多職種によって職員が構成されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様の状態像に合わせて、様々なスタッフで役割分担を行い、効果的な支援を実施している。</li> <li>信頼関係を大切にする観点から、担当制を採用し、お子様や保護者様とスタッフの関係性をより温かくサポートティブなものになるよう努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種での情報共有を活発に行えるよう、継続してケース会議等を行う。</li> <li>スタッフの強みを生かした支援が行えるよう、各々が専門性を高めていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	未就学児の集団形成を行うことが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別療育を中心とした支援を行っているため、他のお子様との関わりを持つ時間を設定することが難しい。</li> <li>集団適応に向けた支援ではあるものの、対人関係の構築に必要なスキルに重点を置く必要があるお子様を対象として支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人内で未就学の集団支援を行っている事業所が存在するため、必要に応じて移行することでニーズを満たす。</li> <li>保育園や幼稚園等と情報共有を行うことで、より集団適応に向けた支援にも努める。</li> </ul>
2	保護者会等の集いの場を開催することが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>併設されていることも発達外来にて、保護者会を開催しているため、そちらを活用してもらっている。</li> <li>平日は保護者様方の仕事等との都合を調整することが難しい可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療で開催された保護者会の内容等をスタッフも把握し、一貫した支援方針を持つことができるよう工夫する。</li> <li>集いの場についてのニーズ把握を行い、ニーズが多く存在する時は開催を前向きに検討する。</li> </ul>

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスYOU II

公表日 2026年 3月 31日

利用児童数 24名

回収数 14件

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	0	0	0	・広くて良い	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	1	・適切です	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	0	・適切です	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0	・きれいです	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	0	・受けられている	今後も、お子様の発達に合わせた支援と保護者様のご相談に乗っていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0	・特にご意見はありませんでした。	3月末に支援プログラムを公表いたしました。ご確認いただくとともに、日頃の支援の内容をお伝えしていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0	同上	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	1	同上	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0	同上	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	1	同上	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	3	6	同上	支援中に地域の中のお子様達と触れ合う機会はあまりありませんが、前向きに検討していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0	同上	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0	同上	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	1	5	同上	併設されております子ども発達外来において、家族支援プログラム等が開催される時には情報提供いたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	12	1	0	1	同上	
保護者 への 説明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	0	1	・半年に一度ほどでいいので、保護者に対する面談や子どもの成長について話せる場があればいいなと思います。	最低6か月に1回、面談を行い、保護者様の子育てに関するご相談や助言を行います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	0	・特にご意見はありませんでした。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	2	8	同上	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の交流の場、ご兄弟の交流の機会などが、あまりないため前向きに検討していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	0	3	同上	子どもやご家族からのご相談や申し入れについて、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1	0	1	同上	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	8	同上	活動内容につきましては、その都度保護者様に報告させて頂いております。自己評価の結果につきましては、公表していることを通信などを活用し発信していきます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	1	同上	
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	4	同上	マニュアルを作成し、契約時や通信発行時に保護者様にご報告し、必要に応じ災害訓練など行うよう前向きに検討していきます。
非常 時 等 の 対 応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	9	同上	定期的に避難訓練等を行うことができるように、前向きに検討していきます。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	2	同上	安全計画に沿って支援ができるように努めています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかに連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	3	同上	未就学児の個別療育に関しては保護者様が同席されていることが多いですが、必要に応じ事業所から速やかにご連絡を入れさせて頂きます。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	同上	安心感を持って通所できるよう努めています。
満 足 度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0	同上	
	29 事業所の支援に満足していますか。	13	1	0	0	・いつもありがとうございます。親子とも毎週楽しみに通所させていただいております。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスYOU II				公表日	2026年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準配置数より多く配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々のミーティングの中で出た意見を、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		前向きに検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	内部、外部、オンライン研修を受講する機会を設けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		3月末に支援プログラムを公表いたしました。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	お子様の発達状況に合わせて、支援計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童発達支援管理責任者含む全職員間でお子様の日頃の様子、発達状況、保護者様のご希望などを共通理解した上で支援計画を立てています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	保護者様との同意の上、医療機関と連携しお子様のアセスメント内容について周知、療育の中でのお子様の様子についても周知しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインに沿った支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		個別療育が主ですが、担当同士で活動プログラムの内容について、意見交換や立案などができるよう改善していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	3		お子様の発達状況に合わせて、集団活動も前向きに検討していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		現在は、支援後の振り返りを翌日の朝に行っていますので、支援終了後に振り返りができるように前向きに検討していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		定期的なモニタリングを行い、支援計画の見直しを図れるように改善していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0		児童発達支援センター主催の研修会等に職員が参加する、または助言を受けるなどの機会を設けています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		支援中に地域の中のお子様達と触れ合う機会はあまりありませんが、前向きに検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日頃のお子様の様子について情報共有しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の交流の場、ご兄弟の交流の場などが、あまりないため前向きに検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		活動内容につきましては、その都度保護者様にご報告させて頂いております。行事予定や連絡体制等の情報は、通信などを通して発信できるよう前向きに検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		地域に開かれた事業運営を前向きに検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		マニュアルを作成し、契約時や通信発行時に保護者様にご報告し、必要に応じ様々な訓練を行うよう努めていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	保護者様と情報共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		必要に応じ対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		通信などで周知できるように努めています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス You II

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2026年

3月

1日

法人（事業所）理念		<基本理念> ・どの様な疾病や障害があろうとも、人は自己肯定感をもって安寧に人生を歩む存在であることを尊重し、一人ひとりのリカバリーを支援する。						
支援方針		・環境を整え、お客様の安心・安全を確保するとともに、各々の目標や課題に応じた支援を行います。 ・お客様が適応的な行動を学び、日常生活への実践を促進します。						
営業時間		10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・お客様の健康状態や心身の状態に合わせて、負担なく活動に参加できるように詳細な状況把握に努めます。 ・口頭でのやり取りに加えて、文字やイラストなど多様な方法を活用し、お客様自身の気持ちや考えを表現できるようサポートし、周囲の大人から「理解してもらえた」と感じられるようお客様に寄り添い、できたところやよいところを誉めています。						
	運動・感覚	・定期的なレクリエーション活動の中で協調運動、協応動作などを取り入れ支援します。 ・運筆の他、手指を使った活動を行い微細運動にも取り組み支援します。 ・感覚統合の視点を取り入れることで、姿勢保持やバランス感覚が養われるよう支援します。						
	認知・行動	・学習の時間を設け、学校での課題の他にも、必要に応じた認知面の発達を促し支援します。（ご家庭のニーズに合わせて、宿題や家庭学習のフォローや学年を遡った個別の学習課題を作成・実施します。） ・具体的な行動の目標を設定し、適切な行動が定着するよう「褒める」支援を行いスモールステップで習得を目指します。						
	言語 コミュニケーション	・ソーシャルスキルトレーニング（SST）を実施することで、他者とのコミュニケーションや社会的スキルについて学びを深めるよう支援します。 （グループでは「心と体のつながり」や「友人関係の構築と維持のスキル」、「ストレス対処」および「苦手や不安との向き合い方」等のテーマを通年で取り組みます。）						
	人間関係 社会性	・関わり活動ではレクリエーションやアナログゲーム等を行い、「遊び」を通して他のメンバーとの関わり方を考える機会にし目的を持って活動に参加できるように支援します。 ・環境設定にも配慮し、活動そのものを楽しめるようスタッフがサポートし、お客様自身が情動調整ができるように支援します。						
家族支援		・日々の活動の様子を伝えることに加えて、定期的にお便りにてお知らせします。 ・お客様含め、ご家族が抱える困りごとを電話や対面で聴き取り、「育ち」や「暮らし」が安定できるように対応策等を一緒に考え相談します。			移行支援		・お客様の地域社会への参加・包容（インクルージョン）の考え方にに基づき、学校や他事業所等と情報共有を行う他、学年に合わせた社会的スキルを学べるよう、年齢の近いお客様を同じグループに設定できるよう構成します。	
地域支援・地域連携		・お客様の地域社会への参加・包容（インクルージョン）を進めるため、専門的な知識・技術に基づく支援、保育所等訪問支援などを通じて学校訪問などを実施することがあります。また、お客様のライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、学校、教育関係機関等と連携を図ります。			職員の質の向上		・法人内の研修会、児童発達支援センター研修会、発達に関するWebセミナーへの参加など、様々な専門的な研修会への参加を行い、支援の質向上を目指します。	
主な行事等		・毎月下旬に特別活動として、季節を感じられる行事やレクリエーション活動を実施しSSTの時間で学んだ事柄を実践できる機会を設けながら支援します。 ・運動や制作、ゲーム大会などに取り組み、その都度目標や目的を設定します。						

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスYOU II		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2025年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 37名
○従業者評価実施期間	2026年 3月12日		～ 2026年 3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職を中心としたソーシャルスキルトレーニング(SST)を実施している。(個別・集団療育)	・視覚的な資料を作成し、PCのアニメーションを活用することで注意を持続させる工夫を行っている。(個別・集団療育) ・小集団に分けて実施することで、より個人に合わせた伝え方を検討・実施している。(集団療育)	・SSTの内容をこれまで以上に充実させるために、お子様の抱える困り感や課題を丁寧にアセスメントする。(個別・集団療育) ・お子様の理解度やニーズに合わせて集団を形成することで、よりお子様やご家庭のニーズに合わせたSSTを作成・実施していく。
2	事業所内の環境を子どもの特性に合わせて構造化している。(個別・集団療育)	・活動をスケジュールで提示することで、活動の切り替え等を自立して行えるよう工夫している。(集団療育) ・個別対応が必要なお子様には、落ち着いて活動に参加できるように補助スタッフを配置して、支援を行っている。(集団療育) ・活動内容の実施方法をスタッフ間で都度話し合い、お子様が混乱しないような支援を目指している。(個別・集団療育)	・スケジュールでの提示を継続しながら、お子様に合わせて個別に見通しが持てる工夫を取り入れる。 ・活動内容に幅を広げ、お子様の課題に合わせたグループ分けやスタッフの支援を行えるよう検討する。
3	保育士や児童指導員および心理士等の多職種によって職員が構成されている。(個別・集団療育)	・お子様の状態像に合わせて、様々なスタッフで役割分担を行い、効果的な支援を実施している。(個別療育) ・信頼関係を大切にすることで、担当制を採用し、お子様とスタッフの関係性をより温かくサポーターティブなものになるよう努めている。(個別・集団療育)	・多職種での情報共有を活発に行えるよう、継続してケース会議等を行う。 ・スタッフの強みを生かした支援が行えるよう、各々が専門性を高めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	法人内で年齢別による運営を行っているため、小学校3・4年生のお子さんのみで集団が形成されている。(集団療育)	・法人内で役割分担を行う側面から、支援できる年齢層や人数に限りがある。(集団療育)	・役割分担を行うことは今後も継続が必要である。しかし、お子様に関する情報共有や連続性を持たせた支援内容の構築を検討する。(集団療育)
2	所在地の関係上、敷地外での活動(公園遊び等)を行うことが難しい。(個別・集団療育)	・所在地から近い公園が徒歩10分であり、活動時間を考慮すると十分に公園で過ごす時間をとることが難しい。(個別・集団療育)	・公園等の外出ではない形で活動の幅を広げられるように工夫を行う。(例：法人内のホールの活用や散歩等)(個別・集団療育)
3	保護者会等の集いの場を設定することが難しい。(個別・集団療育)	・併設されているこども発達外来にて、保護者会を開催しているため、そちらを活用してもらっている。(個別・集団療育) ・平日は保護者様方の仕事等との都合を調整することが難しい可能性がある。(個別・集団療育)	・開催された保護者会の内容等をスタッフも把握し、一貫した支援方針を持つことができるよう工夫する。(個別・集団療育) ・集いの場についてのニーズ把握を行い、ニーズが多く存在する時は開催を前向きに検討する。(個別・集団療育)

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 2026年3月31日				利用児童数	回収数	
児童発達支援・放課後等デイサービスYOU II					42名	37件	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	1	0	0		個別療育の部屋の他に、ホールを使って活動することができます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34	1	0	2		基準配置数よりも多く配置されております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	1	0	4		視覚支援を活用しわかりやすく、安心して活動できるように工夫しています。設備等においても安全に配慮しておりま
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に合った専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	0	0	0		お子様の発達状況に合わせて支援を行っています。専門的な視点で支援ができるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	0	0	1		3月末に支援プログラムを公表いたしました。ご確認いただくとともに、日頃の支援の内容をお伝えしていきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	1	0	2	・様々なカードゲームを使用し、本人がとて楽しんでいました。	認知活動や社会性活動によるSST活動の他、お子様が楽しめる特別活動なども行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館他との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	9	7	13	・個別療育をお願しているため、希望していないから。 ・子どもとの活動する機会に参加することがないです。	支援中に地域の中のお子様達と触れ合う機会はありませんが、前向きに検討していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	3	2	4	・保護者講習会や交流がありましたらと思っています。	併設されておりまして子ども発達外来にて家族支援プログラム等が開催される時には、情報提供いたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	35	2	0	0	・連絡帳があったほうがいい ・一週間に一度、伝えあうことができるともありがたい。	お子様の様子を保護者様と共通理解できる機会を増やしていくよう努めています。
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	1	0	0		定期的に面談等を行い、保護者様の子育てに関する相談や助言を行うよう努めています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	0	0	0		保護者様の気持ちに寄り添えるように努めています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	6	9	10	・あったらいいと思います！	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の交流の場、ご兄弟の交流の場などが、あまりないため前向きに検討していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	2	0	1	・支援者会議など出席いただきありがとうございます。	子どもやご家族からのご相談や申し入れについて、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	0	0	1	・毎回の療育終わりのタイミングでその日の様子を共有してもらえるのが助かります。	保護者様やお子様の気持ちに寄り添い意見交換や情報共有ができるように努めています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	2	0	7		通信等を活用し情報発信しております。自己評価の結果につきましても、公表していることをお知らせするよう努めています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	0	0	3		個人情報の取扱いに十分留意できるように努めています。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	2	0	9		マニュアルを作成し、契約時や通信発行時に保護者様にご報告し、必要に応じ災害訓練など行うよう前向きに検討してい
非 常 時 等 の 対 応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	2	0	12		定期的に避難訓練等を行うことができるように、前向きに検討していきます。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	0	0	7		安全計画に沿って支援ができるように努めています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	0	0	5		療育内において、事故等が発生したときは、必要に応じ事業所から速やかにご連絡を入れさせていただきます。契約時等で周
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	36	1	0	0		安心感を持って通所できるよう努めています。
満 足 度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	3	0	0		お子様が楽しみに通所できるようプログラムの見直しなどを行うよう努めています。
	29 事業所の支援に満足していますか。	37	0	0	0	・5・6年生も通わせれたかったです。 ・親子共に共感的な支援をしていただいています。 ・ありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスYOU II				公表日	2026年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	お部屋と大きいホールがあり、活動プログラムによりお部屋を柔軟に活用しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準配置数より多く配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	視覚支援を活用しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	感染対策に配慮し清潔に保っています。個別の部屋の他、ホールもあり有効活用できます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別の部屋は準備されています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	法人全体で、各部署ごとにPDCAサイクルに沿って目標、振り返りを行い職員周知しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	特にご意見はありませんでした。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		前向きに検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	内部、外部、オンライン研修を受講する機会を設けています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		3月末に支援プログラムを公表いたしました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	お子様のアセスメントを行い発達状況に合わせて支援計画を立てています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童発達支援管理責任者含む全職員間でお子様の日頃の様子、発達状況、保護者様のご希望などを共通理解した上で支援計画を立てています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画に沿った支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	保護者様との同意の上、医療機関と連携しお子様のアセスメント内容について周知し、療育の中でのお子様の様子についても周知しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインに沿った支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		頻度良く職員間で支援プログラムについてを立案できるように努めます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	お子様が楽しく通えるようプログラムを工夫しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団活動の中においても、少人数での活動や個別活動が含まれています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援前のミーティングを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		現在は、支援後の振り返りを翌日の朝に行っていますので。支援終了後に振り返りができるように前向きに検討していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援の記録、検証、改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的なモニタリングを行い、支援計画書の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	児童発達支援管理責任者や、担当職員が参加しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	地域の関係機関、医療などと連携をとっています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	各関係機関、教育機関と情報共有し連携を図っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて情報共有しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		必要に応じ行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		必要に応じ、各関係機関と連携を図っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	必要に応じ行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		地域の児童発達支援センター主催の研修会に参加し助言等をいただいています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		地域の児童クラブや児童館など、他のお子様と接する機会はありませんが、前向きに検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	6	0	管理者・児発管等が出席しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日頃のお子様の様子について情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	必要に応じ、情報提供しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	必要に応じ、行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	保護者様に定期的に支援内容について説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者様と定期的に面談を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の交流の場、ご兄弟の交流の場などが、あまりないため前向きに検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	グループ活動に参加されてるお子様には通信を発行し、個別活動のお子様は保護者様同席、又はその都度活動内容を直接ご報告しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の取り扱いには十分に留意しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	特にご意見はありませんでした。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		地域に開かれた事業運営を前向きに検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを作成し、契約時や通信に保護者様にご報告し、必要に応じ火災訓練などを行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	特にご意見はありませんでした。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	保護者様と情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者様と情報共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し必要に応じ、研修や訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時や通信にて周知を図っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを作成し、再発に向けた対策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止の研修会を開催しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	必要に応じ保護者様にご報告しています。		

訪問先施設向け

## 保育所等訪問支援評価表

(訪問先施設の皆さまへ)

- 本評価表は、保育所等訪問支援事業所を受け入れている訪問先施設の方に、保育所等訪問支援事業所の評価をしていただくものです。  
 (詳細につきましては、別紙「保育所等訪問支援における評価制度(自己評価・保護者評価・訪問先施設評価)の導入について」をご参照ください。)
- 「はい」「どちらともいえない」「いいえ」のいずれかに○を記入するとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。				
5	事業所からの支援に満足していますか。				
その他、お気付きの点をご記入ください。					

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスYOU II		
○保護者評価実施期間	2025年12月17日		～ 2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月18日		～ 2025年12月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問時に訪問員に担当スタッフが同行することで、お子様の状態像を詳細に共有することができる。	・個別支援計画書等を持参することで、お子様の状態像や支援方針を伝えている。 ・発達特性や抱える課題を専門的な視点から伝えることができる。	・発達特性や支援方法について資料を作成し、必要に応じて事前に保育所や学校の先生方へお子様の様子を伝えている。
2	支援プログラムを構築している関係上、保育所や学校等で活用可能な支援内容を共有できる。	・必要に応じて、保育所や学校内で取り組める支援プログラム等を紹介し、導入の支援に努めている。	・保育所や学校で導入可能な支援プログラムを紹介できるよう資料の作成等を行う。
3	必要に応じて、教材アイデアや実際に活用している教材を共有することができる。	・教材等をそのまま共有できるように作成している。 ・保育所や学校等で活用できる方法を模索し、訪問先に合わせた支援を行っている。	・教材の使用法や目的等を事前にお伝えし、共有できるよう準備をしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活状況の全体を把握することが難しい。	・支援時間が60分～90分であるため、生活状況全体を把握することは難しい。	・保護者様への聴き取りをより詳細に行うことや、支援時間で確認された行動が生活内でも同様に出現するか等をアセスメントする。
2	訪問を行える時間帯や日程の選択肢を広く設定することが難しい。	・全てのスタッフが個別・集団支援をで担当しているため、時間を訪問先に柔軟に合わせる事が難しい。	・訪問支援と対面での会議に加えて、Web会議等の機会を設けることで、可能な限り訪問先に合わせた時間で支援を行う。

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスYOU II

公表日 2026年 3 月 31 日

利用児童数 1名

回収数 1件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	0	0	0	1	特にご意見はございませんでした。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1	0	0	0	同上	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1	0	0	0	同上	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1	0	0	0	同上	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0	同上	
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0	同上	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	0	0	1	0	同上	
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	1	0	0	0	同上	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0	同上	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0	同上	
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
非 常 時 等 の 対 応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0	同上	
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
満 足 度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	同上	
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1	0	0	0	同上	
	28 事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0	同上	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年 3月 31日

児童発達支援・放課後等デイサービスYOU II

利用児童数 1

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1			特にご意見はございませんでした。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1			同上	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	1			同上	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1			保護者の困りごと、心配ごとを伝えて頂きとても参考になった。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	1			特にご意見はございませんでした。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
貴重なお時間をいただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。						

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスYOU II				公表日	2026 年 3 月 31 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6	0		必要に応じて教具教材を使用させていただきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準配置数より多く配置しています。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	法人全体で、各部署ごとにPDCAサイクルに沿って目標、振り返りを行い職員周知しています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	必要に応じ、業務改善を行っています。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	必要に応じ、業務改善を行っています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		前向きに検討していきます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	内部、外部、オンライン研修を受講する機会を設けています。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6	0	お子様の発達状況に合わせて、支援計画書を作成しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	0			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	保護者様との同意の上、医療機関と連携しお子様のアセスメント内容について周知、療育の中でのお子様の様子についても周知しています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童発達支援管理責任者含む全職員間でお子様の日頃の様子、発達状況、保護者様の希望などを共通理解した上で支援計画を立てて		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画に沿った支援を行っています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	職員間で情報共有しています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	職員間で情報共有しています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6	0	訪問先の理念や支援の考え方を尊重し対応しています。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6	0				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	お子様の発達状況に合わせています。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者や児童発達管理責任者、または担当者が参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	各専門機関、医療等と連携しています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	必要に応じ連携を図っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0		地域の児童発達支援センターの助言を受けたり、主治医の助言を受けたりしています。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	6	0	管理者、児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	お子様の様子について、その都度保護者様にお伝えし情報共有しています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	必要に応じて情報共有しています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に行っています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者様の意向を踏まえて支援計画を立てています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6	0	保護者様の同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の交流の場、ご兄弟の交流の場等が、あまりないため前向きに検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速に対応しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		通信等を通して、活動の様子をお伝えできるように前向きに検討していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	日頃のお子様の様子について情報共有しています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	0		必要に応じて、行っています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	保護者様と定期的に面談を行っています。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを作成し、契約時や通信発行時に保護者様にご報告し、必要に応じ火災訓練などを行っています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	グループ活動に参加されてるお子様には通信を発行し、個別活動のお子様は保護者様同席、又はその都度活動内容を直接ご報告しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを作成し、再発に向けた対策を検討しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止の研修会を開催しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	必要に応じ保護者様にご報告しています。	